

平成29年度 学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	8 9		学校名	総和工業高等学校				課 程		全日制		学校長名		張 貝 智 治			
教頭名	久 松 政 信											事務長名		石 引 浩			
教職員数	教諭	3 1	養護教諭	1	常勤講師	4	非常勤講師	2	実習教諭, 実習講師, 実習助手	8	事務職員	3	技術職員等	3	計	5 5	
生徒数	小学科		1 年		2 年		3 年		4 年		合 計		合 計 ク ラ ス 数				
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
	機 械 科		8 0	0	7 2	0	6 6	1			2 1 8	1	6				
	電子機械科		3 3	1	3 6	2	3 4	0			1 0 3	3	3				
	電 気 科		3 6	1	2 5	0	3 3	1			9 4	2	3				

2 目指す学校像

教育活動全体を通して、人間性の涵養と生きる力を身に付けさせ、心身ともに健康で豊かな人間性を備えた生徒の育成を図り、ものづくり教育を基軸とした教育活動を通して、社会の形成者として必要な資質・能力の育成を期す。

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項 目	現 状 分 析	課 題
学習指導	基礎学力の不足や学習方法・取り組み姿勢に問題があり、学年の途中で学習意欲のなくなる生徒がいる。総じて学習に対する姿勢が消極的である。そんな中資格取得には多くの生徒が取り組み、より上級な資格へ挑戦し、合格する生徒も出ている。	授業に臨む姿勢と目標及び学ぶことへの意欲と興味・関心を持たせると共に、学習習慣を確立させる。そのため学力向上推進総合事業等を充実させ、基礎学力の向上を図る。また、上位層の生徒の学力をさらに伸ばす。
生徒指導	挨拶のできる明るい生徒が多いが、自分を大事にできず、他者に対する思いやりや公共物を大切にできる気持ちに欠ける生徒もみられる。交通事故件数は減少傾向にあるが、交通マナーに関しては、大きな改善が見られない。安全教育と共に交通マナーの改善をさらに進めていく必要がある。	教育活動全体を通して規範意識の高揚を図る。生徒一人一人にきめ細やかに接し、教育相談体制を充実させ、問題行動の未然防止・早期発見等に努める。また、自転車・原付バイク通学者の交通安全教育の充実を図る。
進路指導	ここ数年、就職希望者の内定率は100%を維持している。進学希望者は25%程度で、大学進学者も含め希望者全員が進学している。雇用環境や社会構造の変化を念頭に置き、引き続きキャリア教育の充実を図ると共に、面接・小論文等の具体的な指導を充実させる必要がある。	自己の進路について早期から意識させるため、地域産業の理解や大学の出前授業など、学年に応じたキャリア教育が必要である。個人の能力や適性を理解させた上で目標設定させることにより、日々の学校生活を充実させたい。
特別活動	ホームルーム活動や学校行事には積極的に参加する生徒は多い。全国大会に出場する部活動がある反面、部活動に関心を示さない生徒も多く、結果として部活動加入率が50%程度に留まっているのが現状である。	生徒とのコミュニケーションを重視し、好ましい人間関係を築きながら生徒の人格形成に関わっていく。部活動加入率を高め、学校の活性化につなげる。

4 中期的目標

- 1 ひとりひとりを大事にした教育を実践し、基礎学力の定着と、「ものづくり」教育を基軸として、専門分野における基礎的な技術・技能を身に付けさせる。
- 2 教育活動全体を通して、人間性の涵養と望ましい生き方を指導し、生きる力を身に付けさせる。
- 3 キャリア教育の推進と社会の変化に対応できる能力を育成し、技術者としての誇りと自信を身に付けさせるとともに、社会の一員としての自覚を持たせる。
- 4 教育活動全体を通じた体育・スポーツ活動の振興を図り、知・徳・体のバランスのとれた生徒の育成を目指す。

5 本年度の重点目標

重 点 項 目	重 点 目 標
学習意欲を高める授業・実習の工夫改善	①授業規律の確立と基礎的・基本的な内容を重視し、確かな学力の定着を図る。 ②観点別評価を活かした学習活動に努め、授業・実習の工夫改善を図る。 ③ものづくり教育を推進させ、専門的な知識や技術の習得と、資格取得につなげる。
道徳教育の推進と基本的生活習慣の確立	④規範意識の高揚を図り、基本的生活習慣を身につけさせる。 ⑤道徳教育やいじめ防止対策推進体制を確立し問題行動等の未然防止に努める。 ⑥ルールやマナーの向上を図り交通事故防止に努める。
健康や体力を育み学校全体の活性化	⑦部活動やホームルーム活動等を充実させ、生徒の主体性を育む。 ⑧学校行事等を通して、生徒の自主性・自律心を育成し、学校全体の活性化を図る。 ⑨特別活動の充実を図り、体験的活動を通して自発的・自治的な態度の育成に努める。
社会の変化に対応した生きる力の育成	⑩キャリア教育を推進し、勤労観・職業観の育成を図り、進路希望の実現を目指す。 ⑪企業体験学習や進学支援を充実させ、主体的に進路選択ができるようにする。 ⑫校内環境の美化に努め、よりよい生活環境の創造のための実践的な態度を育成する。
P T A活動の活性化と地域社会との連携	⑬P T A活動の活性化のため、保護者との連携と行事の工夫改善を推進する。 ⑭地域イベントやボランティア等に積極的に参加し、本校の特色をアピールする。 ⑮防災力推進の観点から、ものづくりを活かし地域社会との連携を推進する。